

令和元年 11 月 22 日

会 員 各 位

一般社団法人山形県歯科技工士会
会 長 櫻井 利浩
学術担当 尾形 清敏

第 41 回 山形県歯科医師会・山形県歯科技工士会

共催学術講習会のご案内

デジタルデンティストリーの第一人者であられる北海道医療大学教授の疋田一洋先生をお招きし、CAD/CAM 冠の開発から保険導入を経て今後の影響、そして口腔内スキャナーが普及していく上での歯科医師・歯科技工士がどのような準備と技術が必要か御講演いただきます。会場では株式会社ジーシーの最新の CAD/CAM システムの展示も行われます。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

【 会 場 】 山形県歯科医師会館
【 日 時 】 令和元年 12 月 22 日

9 : 30 受付開始

10 : 00 開会 『CAC/CAM 冠の保険導入への経緯とその後の影響』

12 : 00 昼食

13 : 00 午後の部開会 『デジタルデンティストリーが変える歯科医療』

16 : 00 閉会

【開催コード・単位】 94-10501 5 単位

【参加申し込み】 同封ハガキ又は山形県技工士会事務局 TEL・Fax023-665-4370
電話は月・水・金の 10:00~12:00・1:00~3:00 にお願ひします。
E メールアドレス yamashigi@rose.ocn.ne.jp

【 参 加 費 】 歯科技工士会会員 1.000 円 (昼食代を含む)
未入会員 5.000 円 (//)

【申し込み締め切り】 令和元年 12 月 13 日必着で!!

※ 18 日以降キャンセルの方は後日会費を頂きます。

『CAD/CAM 冠の保険導入への経緯とその後の影響』

2014年4月の歯科診療報酬の改訂により、CAD/CAM冠という新しい歯冠修復物が保険導入された。当初は使用材料の情報や取扱方法が十分に理解されず、臨床現場でのトラブルも報告されていたが、材料の改良や臨床術式の徹底などで現在は年間150万本を超える臨床応用が行われている。そこで、今回はCAD/CAM冠が保険導入された経緯と取扱方法をご説明し、今後CAD/CAMが歯科にもたらす影響についてお話したい。

『デジタルデンティストリーが変える歯科医療』

CAD/CAM冠、ジルコニアに代表される歯科技工現場におけるCAD/CAM技術による製作技術が急速に普及している。これに加えて、口腔内スキャナーが普及すると歯科診療室でも全く異なるデジタルワークフローが必要となる。このような変化に対して、歯科医師や歯科技工士はどのような準備や技術が必要なのか検討してみたい。

疋田一洋（ひきた かずひろ）先生

略歴

1987年 北海道大学歯学部卒業
1991年 北海道大学大学院修了（歯学博士）
1991年 北海道大学歯学部歯科補綴学第二講座 助手
1999年 北海道医療大学医療科学センター 講師
2002年-2003年 ベルギー王国ルーベンカソリック大学客員教授
2004年 北海道医療大学個性差医療科学センター 助教授
2012年 北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系高度先進補綴学分野准教授
2015年 北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系デジタル歯科医学分野教授
現在に至る